

《時代を切り開いた矢嶋家の女性たち パネル》

<h2>タイトル</h2>  <p>「四賢婦人」と呼ばれた4人の矢嶋姉妹は、近代日本において女子教育や婦人解放運動に尽力し、今日の男女共同参画社会の礎を築いた。竹崎順子(3女)、徳富久子(4女)、横井つせ子(5女)、矢嶋楯子(6女)のことです。この姉妹は、熊本益城町に生まれ、男性中心の考え方が色濃く残る幕末から明治、大正の時代に、女性の地位向上のために一生を捧げました。矢嶋姉妹の活動は、熊本だけでなく、東京、そして海外にも広がっており、その後の日本全国における女性のための学校設立や婦人解放運動にも大きな影響を与えました。皆様も矢嶋姉妹の生き方を通して、男女共同参画の歩みを振り返っていませんか。</p> <p>製作：『3.11』被災者支援パネル「熊本の復興と未来」制作：益城町教育委員会</p>	<h2>矢嶋家と親族たち</h2>  <p>矢嶋家系図</p>	<h2>竹崎 順子</h2>  <p>一女子教育の先駆者 たけざき じゆんこ 竹崎 順子 (三女) 1825 ~ 1905</p> <p>文政8(1825)年10月25日、矢嶋家三女として益城町杉堂に生まれる。横井小楠の高弟の竹崎律次郎(茶堂)に嫁ぐ。律次郎の事業失敗や横島新地(現・玉名市)の事業、肥後藩行書記官への出仕、家塾「日新堂」の創設を献身的に支えた。律次郎死去後、明治20(1887)年キリスト教に入信。明治における女子教育の先駆者で、明治22(1889)年、「熊本女学校」(後の熊本フェイス学院高等学校)の舎監となる。明治30(1897)年校長に就任、多くの女性の人材を世に送り、明治38(1905)年、81歳の終焉まで校長としてその責務を全うした。現在も「校母」として尊敬されている。</p>	<h2>徳富 久子</h2>  <p>一徳富蘇峰・蘆花の母 とくとみ ひさこ 徳富 久子 (四女) 1829 ~ 1919</p> <p>文政12(1829)年4月11日、矢嶋家四女として益城町宮園に生まれる。横井小楠の高弟で明治3(1870)年の肥後藩政改革の中心人物、徳富一敬(淇水)に嫁ぐ。近代日本の言論人・徳富蘇峰、小説家・徳富蘆花兄弟の母として厳格な家庭教育を実践。蘇峰は「私が一人前になり、強い信念が持てたのも、母の厳しさのおかげであった」と感謝している。また、娘・初子を日本初の男女共学として熊本洋学校で学ばせた。禁酒運動家としても活躍し、女子教育の必要性を提唱し学校設立案の「趣意書」起草する。姉・順子の女子教育、妹・楯子の日本キリスト教婦人矯風会活動を積極的に支えた。大正8(1919)年91歳没。</p>	<h2>横井 つせ子</h2>  <p>一横井小楠を支えた女性 よこい 横井 つせ子 (五女) 1831 ~ 1894</p> <p>天保2(1831)年8月17日、矢嶋家の五女として益城町宮園に生まれる。安政3(1856)年26歳の時、幕末の思想家・政治家である横井小楠に嫁ぐ。「夫は天下人である。妻たる自分も出来るだけ学問をして夫の名を辱めることがない様に」と励み、明治維新への大業参加の小楠を支えた。それに対し小楠は、「おつせは君子だ」と賛美の声を贈ったという。同志社第3代社長横井時雄、第8代総長海老名洋正夫人みや子の母で、みや子を日本初の男女共学として熊本洋学校で学ばせた。姉・順子、妹・楯子の女子教育・婦人解放運動を支えた。明治27(1894)年64歳没。</p>	<h2>矢嶋 楯子</h2>  <p>一女子教育・女性の地位向上に尽力 やじま かじこ 矢嶋 楯子 (六女) 1833 ~ 1925</p> <p>天保4(1833)年4月24日、矢嶋家の六女として益城町宮園に生まれる。安政5(1858)年、兄・直方の勧めにより結婚するも明治元(1868)年に離婚し矢嶋家に復籍する。明治5(1872)年、兄の病弱のため上京。その途上「楯子」と改名する。兄のもとに住み小学校教員伝習所に学ぶ。学卒の末、40歳で小学校・女学校の教師となる。明治12(1879)年、米國婦人宣教師ミセス・ツルの影響により、キリスト教に入信し受洗。明治19(1886)年には、現存する最古の婦人団体である「東京婦人矯風会」(明治26(1893)年に全国組織「日本キリスト教婦人矯風会」となる)の初代会頭に就任。元老院への「一夫一婦制」の建白書提出をはじめ、婦人参政権・腐婚・禁酒運動等に尽力した。また明治23(1890)年、キリスト教系女学院(現東京女子学院)を創立。初代校長となった。大正10(1921)年88歳の高齢でワシントン平和会議に出席した際、ハーディング米大統領より記念の花冠を贈られ、その功を称えられた。大正14(1925)年92歳没。従五位勲等々に叙される。</p>
--	--	--	--	--	---

四賢婦人関係人物



横井小楠 四賢婦人に影響を与えた先覚者

矢嶋直方 狂歌師・政治家・文筆家

徳富蘇峰 小説家・政治家

徳富蘆花 小説家・文筆家

四賢婦人関係年表

年	人物	出来事
1825	竹崎順子	誕生
1829	徳富久子	誕生
1831	横井つせ子	誕生
1833	矢嶋楯子	誕生
1858	横井つせ子	結婚
1870	徳富久子	結婚
1872	横井つせ子	離婚
1879	矢嶋楯子	結婚
1887	竹崎順子	キリスト教に入信
1889	竹崎順子	熊本女学校(後のフェイス学院)の舎監となる
1894	横井つせ子	64歳没
1897	竹崎順子	校長に就任
1905	竹崎順子	81歳没
1919	徳富久子	91歳没
1921	矢嶋楯子	ワシントン平和会議に出席
1925	矢嶋楯子	92歳没

四賢婦人コラム①



「四賢婦人物語」に学ぶ
一時代を切り開いた矢嶋姉妹、その功

「四賢婦人物語」に学ぶ
一時代を切り開いた矢嶋姉妹、その功

四賢婦人コラム②



「四賢婦人物語」に学ぶ
一時代を切り開いた矢嶋姉妹、その功

「四賢婦人物語」に学ぶ
一時代を切り開いた矢嶋姉妹、その功

四賢婦人記念館案内



四賢婦人の故郷・益城町で、学を深めよう!

今回のロビー展で紹介した、矢嶋姉妹の功績や関係資料は、益城町杉堂にある「四賢婦人記念館」で見ることができます。当初、益城町上原にあった記念館は、平成28(2016)年の熊本地震により被災し休館。その後、全国各地から支援を受け、平成31(2019)年、4月2日に益城町の潮井自然公園内にオープンしました。江戸時代後期に建てられた矢嶋姉妹の父、庄屋矢嶋忠左衛門直明の旧家屋を模したもので、館内には、矢嶋家や徳富蘇峰に関する古文書や生活用品を展示しています。近隣にも矢嶋楯子先生顕徳碑や蘇峰先生誕生地碑、矢嶋家墓地などがあり、ゆかりの地めぐりもできます。「四賢婦人記念館」のある潮井自然公園内には、豊かな湧水量を誇る「潮井水源」、や、国天然記念物「布田川断崖帯(杉堂地区)」もあり、熊本地震震災ミュージアムとして活用されています。